

## 拠点形成研究交流報告：カリフォルニア大学デービス校でのシンポジウム

拠点形成事業の一環として2019年11月18～25日にカリフォルニア大学デービス校を訪問しました。19日は、カリフォルニア大学デービス校（UC Davis）の本事業リーダーであるAmeer Taha先生と東北大学とのジョイントシンポジウムが開催されました。東北大学からは、農学研究科の白川仁先生、仲川清隆先生、大崎雄介先生、乙木百合香先生、筆者、薬学研究科の前川正充先生の6名、UC Davisからは18名の参加がありました。両大学から8演者の臨床脂質栄養に関する研究発表があり、いずれの発表も熱い議論が繰り返され大変盛り上がりました。その後、今後の協力体制について議論をし、共同研究や交流の推進について議論を深めることもできました。20～25日には、実際にAmeer Taha先生と議論しながら共同で実験を行いました。前回（2018年3月）訪問した際に議論したエステル型酸化脂質の標準物質の調製に成功したため、実際に本標準物質を用いてヒト脳中のエステル型脂質の分析に取り組みました。本訪問を通し、さらに共同研究が活発になることが期待されました。

最後にこのような熱い議論の場をサポートいただき、JSPS 研究拠点形成事業に心より感謝申し上げます。



上2つ：セミナーの様子 下：集合写真

（文：東北学大学院農学研究科J-オイルミルズ油脂イノベーション共同研究講座 助教 加藤俊治）